

「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）」に関する 国連勧告の仮訳の公表について（お知らせ）

平成16年4月27日
環境省環境保健部環境安全課
課長：上家 和子（内線 6350）
課長補佐：荒木 真一（内線 6353）
専門官：行木 美弥（内線 6360）

環境省を含む関係省庁連絡会議では、平成15年7月に国連より勧告された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」（Globally Harmonized System 以下、「GHS」という。）について日本語の仮訳作業を協力して進め、この度、仮訳が完成しました。

本日より、環境省ホームページからダウンロードすることができますので、ご活用ください。

1. 背景

平成15年(2003年)7月に国連よりGHSが勧告されました。GHSは、化学品をその危険有害性(ハザード)ごとに分類して、その危険有害性が一目で分かるようなラベルの表示や安全データシートを提供する場合には、世界的に統一されたルールに従って行っていくというものです。

GHSは、国際的には、アジア太平洋経済協力(APEC)諸国間では平成18年(2006年)年までの実施、ヨハネスブルグサミット(平成14年に開催)では平成20年(2008年)までの実施が目標とされています。

2. 作成経緯

この仮訳は、平成15年1月から平成16年3月までの間に「化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)関係省庁連絡会議」(参考参照)が協力して作業を進めて作成したものです。

3. 入手方法

環境省ホームページ(<http://www.env.go.jp/chemi/ghs/kariyaku.html>)からダウンロードすることができます。

また、GHSの原文および正誤表は、国際連合欧州経済委員会のウェブサイト(<http://www.unece.org/trans/danger/publi/ghs/officialtext.html>)からダウンロードすることができます。

なお、この仮訳は、正誤表を踏まえて作成されていますので原文を参照する場合には、正誤表(http://www.unece.org/trans/danger/publi/ghs/ghs_text-pdf/ST-SG-AC10-30c1e.pdf)も併せてご覧ください。

< 参考 >

化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）
関係省庁連絡会議構成員一覧

委員

日本海事検定協会顧問 八十川欣勇

日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻教授 城内博

関係省庁

外務省総合外交政策局国際社会協力部国連行政課

総務省消防庁危険物保安室

厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課

労働基準局安全衛生部安全課

医薬食品局審査管理課化学物質安全対策室

農林水産省消費・安全局農産安全管理課農薬対策室

経済産業省製造産業局化学物質管理課

製造産業局化学物質管理課化学物質安全室

原子力安全・保安院保安課

国土交通省総合政策局参事官（交通安全）付

海事局検査測度課

航空局技術部運航課

環境省総合環境政策局環境保健部環境安全課

オブザーバー

社団法人日本化学工業協会